

無意識は、さらに深い心の世界への入り口にすぎない

さて、以上、この第二話においては、我々の心には「五つの世界」があること、それぞ  
れの世界で、どのような形で「引き寄せ」が起こり、どのようにして「良い運氣」を引き  
寄せるのかについて述べてきた。

そして、我々の心が、どの意識のレベルと繋がるかによって、起こる現象が違ってくる  
こと、「運氣」の表れ方も違ってくることを述べた。

では、我々が、人生や仕事において、「良い運氣」を引き寄せるためには、この「心の  
五つの世界」にどう処するべきであろうか。

まず、ここまでの話を振り返ってみよう。

1

第一話では、我々の「心の状態」が、その心と共鳴するものを「引き寄せる」ことを述  
べ、従って、「良い運氣」を引き寄せるためには、心の世界が「ポジティブな想念」で満  
たされていることが必要であることを述べた。

第二話では、我々の心には、次の「五つの世界」があることを述べ、それぞれの世界で  
何が起こるのかを述べた。

- 第一 個人的な意識の世界
- 第二 集合的な意識の世界
- 第三 個人的な無意識の世界
- 第四 集合的な無意識の世界
- 第五 超時空的な無意識の世界

では、これらの話を踏まえ、我々が「良い運氣」を引き寄せるためには、この「五つの

1

世界」に、どう処すれば良いのか。

最初に結論を述べるならば、これら五つのうち特に重要なのは、その中心にある「個人的な無意識」の世界である。

この「個人的な無意識」とは、世の中では「潜在意識」や「深層意識」とも呼ばれるものであるが、本書では、この後は、短く「無意識」と呼ぼう。そして、「個人的な意識」を「表面意識」と呼ぼう。

では、なぜ、この五つのうち、第三の「無意識」の世界が重要なのか。

三つの理由がある。

第一の理由は、人間集団や組織や社会における「集合的な意識」や「集合的な無意識」の世界は、小さな人間集団を除いて、個人の「表面意識」では直接的に働きかけることが難しいからである。

2

第二の理由は、「無意識」の世界の方が「表面意識」の世界よりも強力だからである。

そのため、「無意識」の世界にネガティブな想念が満ちていると、「表面意識」の世界に、どれほどポジティブな想念があっても、「ネガティブなもの」を引き寄せ、「良い運氣」を遠ざけてしまうからである。

2

第三の理由は、「無意識」の世界は、「集合的な無意識」の世界や「超時空的な無意識」の世界への入り口であり、この「無意識」の世界を通じて、さらに心の奥深くにある二つの世界に繋がることのできるからである。

従って、「無意識」の世界をポジティブな想念で満たすことができると、「集合的な無意識」の世界や「超時空的な無意識」の世界でも「ポジティブなもの」を引き寄せ、「直観」や「予感」や「好機」、「シンクロニシティ」や「コンステレーション」という形で、「良い運氣」を引き寄せることができるからである。

そして、先ほども述べたように、この「無意識」の世界をポジティブな想念で満たすことができれば、「ゼロ・ポイント・フィールド」から、必要なものを、必要なとき、必要な形で引き寄せるため、ただ「良い運氣」を引き寄せるだけではなく、直観力や想像

力、発想力や創造力が大きく高まり、我々の中の「能力」も大きく開花していく。

では、「良い運氣」を引き寄せ、「能力」を開花させるために、どうすれば、この「無意識」の世界をポジティブな想念で満たすことができるのか。

しかし、実は、この「無意識」の世界をポジティブな想念で満たすことは極めて難しい。

これまで多くの書籍や文献で「無意識を変える方法」として、

表面意識にポジティブな想念を強く持てば、

それが無意識の世界にも浸透し、

「良い運氣」を引き寄せる

ということが語られてきた。

だが、実際には、そうした方法を実践しても上手くいかないという人が多い。効果が得られないという人も多い。

それは、もしかすると、あなたも感じているのではないだろうか。

では、なぜ、従来の方法が上手くいかないのか、なぜ、効果を発揮しないのか。

その理由を、次の第三話で明らかにしよう。